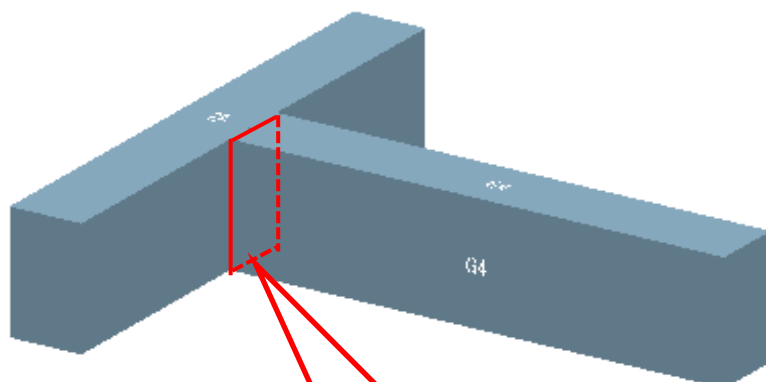


## 柱を拾っていないのに、柱の型枠がマイナスで集計される

柱を拾っていないのに、集計表でマイナスの型枠数量が集計されるときは対処法となります。  
あるいは、柱は拾っているが、「普通型枠」は出てこないはずなのに、「普通型枠」がマイナスの値で集計される時も同様となります。

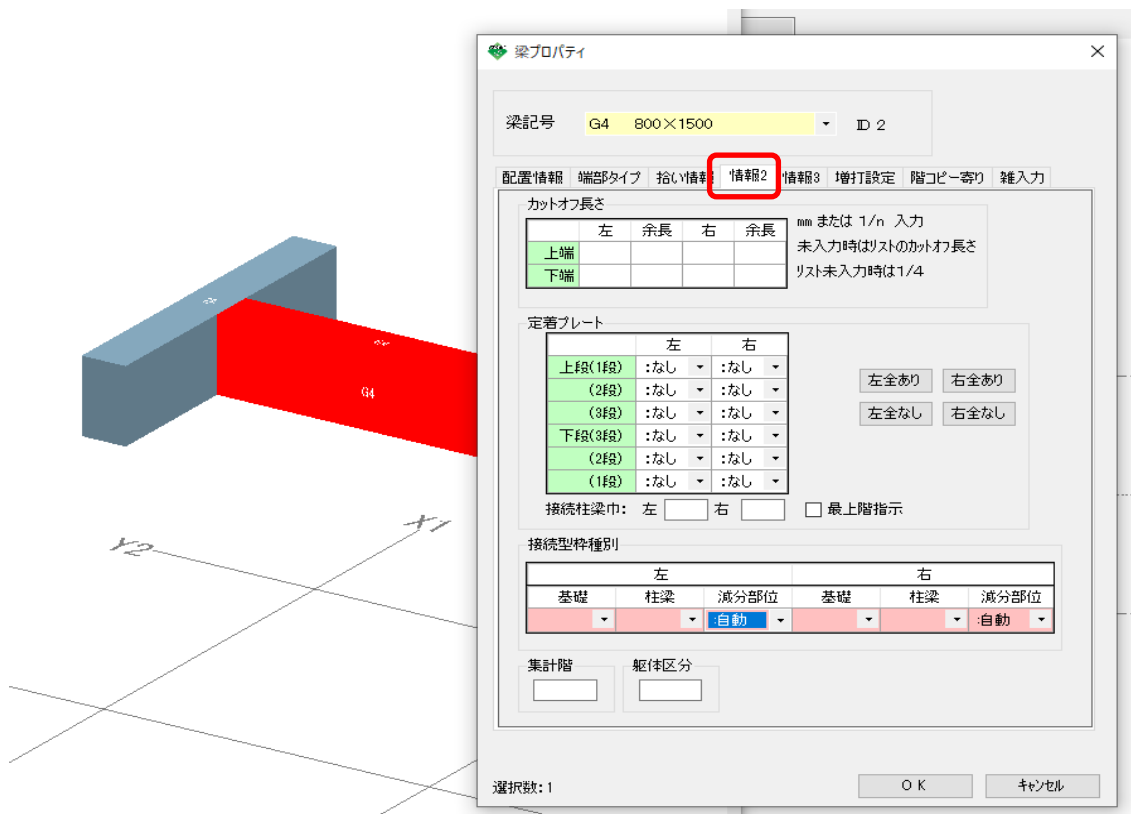
大梁と大梁の接合部の小口面積が1.0m<sup>2</sup>を超える時、「柱の普通型枠から減じる」設定となっているために発生します。



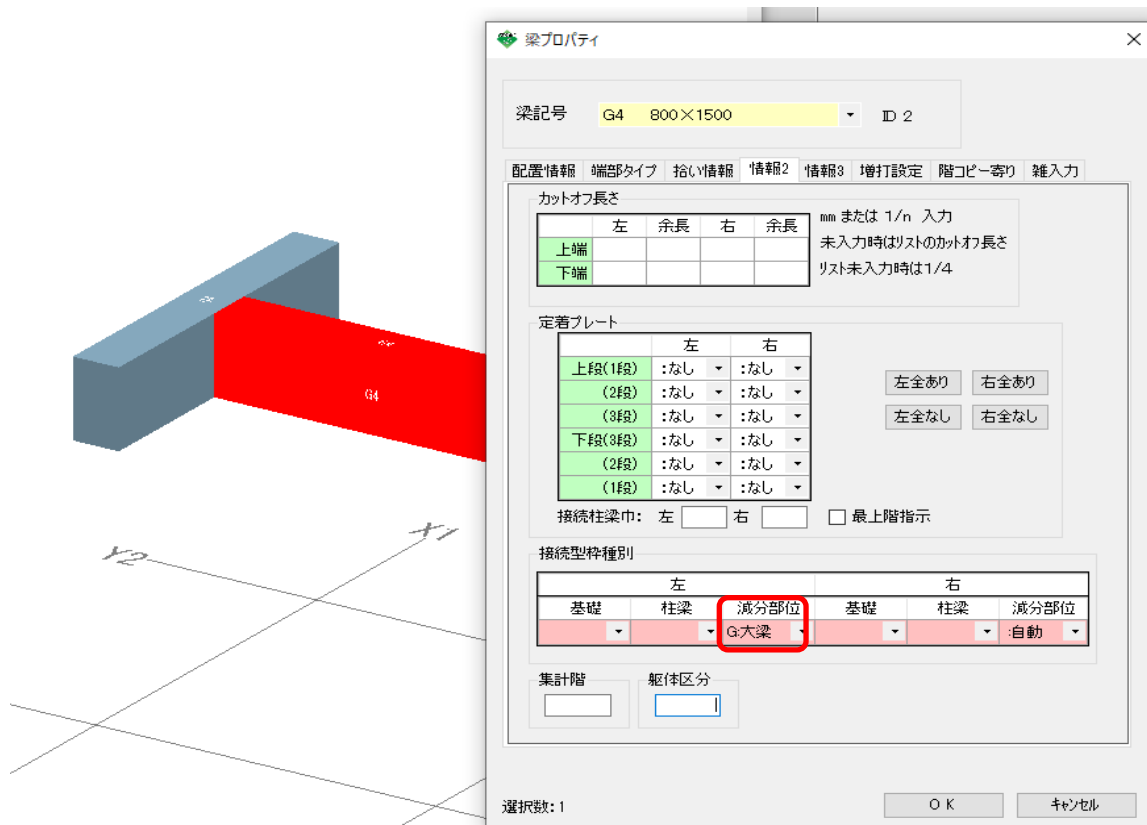
柱の普通型枠から引く設定になっているため

1. 梁のプロパティ画面を開きます。

① 「情報2」タブを開きます。



② 「接続型枠種別」の「減分部位」を「自動」から「大梁」に変更します。



※もし、差し引く対象の梁の型枠種別が「普通型枠」でない時、「柱梁」のセルでその型枠種別を指定します。

